

地域防災力向上 シンポジウム in 岐阜 2016

～身につけよう 明日につながる実践力～

平成28年は、東日本大震災から5年、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行から3年目に当たります。また、岐阜県では、平成22年7月の豪雨災害、平成26年9月の御嶽山噴火などが記憶に新しいほか、いつ起こってもおかしくないと言われている南海トラフ地震など、来るべき災害に備えて準備し、実践できるようにする必要があります。

このことを踏まえ、住民、行政、関係機関が連携・協力し、地域の防災・減災対策を充実強化し、災害に強いまちづくりを進める契機とするため、また女性や若者をはじめとした消防団員の入団促進や地域防災力の一層の推進を図ることを目的に開催します。

自助

自らの身は自分で守る。
普段から災害に関する知識を身につけるなど、災害に対する準備。



共助

自分たちの地域は自分たちで守る。
身近な地域コミュニティにおける自主防災組織等の取組。



公助

国・県・市町村などの行政や防災関係機関が行う事前対策や応急対策活動。



日時 平成28年12月18日(日) 開場12:30/開会13:00/閉会16:25(予定)

入場無料

会場 ソフトピアジャパンセンター 3階ソピアホール
大垣市加賀野4丁目1番地7

定員300名

当日プログラム ※プログラム内容は変更になる場合がございます。

■ 基調講演



防災・減災を 「わかる」から 「できる」へ

高木 朗義 氏
●——岐阜大学工学部社会基盤工学科教授

■ 事例発表

岐阜聖徳学園高等学校 生徒
嶋田喜美子 氏 ●——高山市民防災研究会防災士

■ パネルディスカッション

「災害に備えた地域住民相互の 理解と協力」

[パネリスト]

- 堀 好美 氏 ●——安八町中組区長
- 高木 淳一 氏 ●——大垣市消防団 団本部副団長
- 岡山 登志高 氏 ●——社会基盤メンテナンスエキスパートの会会員
- 各務 眞弓 氏 ●——NPO法人可児市国際交流協会事務局長
- 岐阜聖徳学園高等学校 生徒

[コーディネーター]

高木 朗義 氏

主催：消防庁、岐阜県、大垣市、(一財)岐阜県消防協会
共催：岐阜新聞・ぎふチャン、清流の国ぎふ 防災・減災センター
後援：(公財)日本消防協会、(一財)日本防火・防災協会、全国消防長会、全国地方新聞社連合会